

ベストクラス選定理由書

作成者：中原竜彦、佐藤優衣、白井俊介、告野雅子、前澤拓、池田浩之

科目名称 障害者福祉論		(担当教員名： 石倉 健二)
課 程 : 大学院 (修士)	開講時期 : 前期	
授業形態 : 講義	授業規模 : 31人以上	
インタビュー対象教員名 石倉 健二 (実施日時：2021年7月16日(金) ; 実施場所：Zoomによる実施)		
インタビュー対象受講者名 佐藤 凜奈 (実施日時：2021年8月4日(水) ; 実施場所：Zoomによる実施)		
<p>選定理由</p> <p>【授業アンケートの自由記述欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者が授業で何を理解すべきであるのか明確な授業とみられる。 ・ZOOMの機能であるブレイクアウトルームを取り入れられており、グループディスカッションによって個人内の理解に留まらず、多様な視点をもつことができる。また、事例検討でのグループディスカッションを取り入れている。 ・「課題に対して1人ひとりに丁寧なコメントのフィードバックがあることが、とてもよかった」「課題へのフィードバックは次への学習の励みになった」とあり、教員の丁寧な課題へのフィードバックは、受講生の学習意欲の向上につながっているとみられる。 <p>【教員へのインタビュー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストを使用して、制度を調べることができるようになるのが目的 →ガイドブックの使用や、学校以外の関係機関とつながることを意識 ・オンライン授業への移行はスムーズであった。 ・前半は3世帯8人のケースをモデルにして考えてもらう例年のものを課題として出して、そのレポートに対して一人ひとり提出したものにコメントを返す→基礎の積み上げを行った。 ・後半はZoomを用いて、グループワーク・そのための資料作りを行った。 ・提出物の提出率・質ともに良く、グループワークでも積極的に話せていて、参画度が高かった。 <p>【受講生へのインタビュー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業において目指す理想像がはっきりしており、受講しやすかった。 ・オンラインだと、周りの声が聞こえない状態でグループ討議ができたので討議がしやすかった。 ・自分で考えてやってみるため、現場に近い体験・指導が受けられて学びにつながった。 <p>【総括】</p> <p>目的がはっきりしており受講生にも共有されていたことがわかる。また、積極的なグループワーク参加や先生からのフィードバックもあり、まさしく、受講生と先生と一緒に作り上げられたクラスと思われる。オンラインでの授業への切り替えもうまくいっており、特有の環境が活用されていた。インタビュー結果等を鑑みてベストクラス足ると考えられる。</p>		